



# 遣伯使見聞録



**Bom dia!!** (こんにちは)

今年度、国際協力派遣事業で、9月18日からブラジル国パラナ州で活動を行っています学校教育課の夏目裕介です。今回の派遣の主な目的、訪問先と訪問期間は次のとおりです。

## 【派遣の主な目的】

- パラナ州及び豊橋市の教育制度や教育システムの相互提供
- 日本からブラジルに帰国した児童生徒の実態把握
- 教育改善支援（学習規律や教科指導方法について）
- 教育作品交流（パラナヴァイ市立学校19校と交流を行います）

- ・ 9月17日（火） 中部国際空港発
- ・ 9月18日（水）～ 9月29日（日） サンパウロ→クリチバ
- ・ 9月30日（月）～10月 6日（日） マリンガ
- ・ 10月 7日（月）～11月10日（日） パラナバイ
- ・ 11月11日（月）～11月22日（金） サンパウロ
- ・ 11月24日（日） 中部国際空港着

自分としては個人的に次のような目的をもって取り組んでいます。

- 外国人児童生徒教育、いじめ・不登校、教員の働き方改革など日本の今日的課題をブラジルからの視点で見直す。
- ブラジルの生活環境、教育環境、自然環境を肌で感じ、記録に残す。
- 吸収したことを帰国後明確に伝える。日本とブラジルの教育交流のつなげ役になる。

そこで、今回のブラジル通信の題名を「遣伯使見聞録」とし、自分が見聞きし肌で感じたことを遣伯使となったつもりで伝えていきたいと思います。

まず、地球の裏側は遠かったです。中部国際空港を出発してから、35時間かけてクリチバにつきました。どんどん日本から離れていくことに不安や孤独感、寂しさを感じながらブラジルに入りました。「ブラジル＝暑い」と思っていたのですが、クリチバは標高が高いため、肌寒く感じました。さらに雷が鳴り、雨や雹（ひょう）も降る大変な天候でした。そのような中、サッカーブラジルカップの決勝が行われ、地元クリチバのアトレティコ・パラナエンセがインテル・ナシオナルに勝ち見事優勝しました。時差ぼけの中、一晩中ホテルの外は、雷、雹、花火、人々の熱狂で大騒ぎ！大変なところに来てしまった…というブラジル初日でした。



## 大事な時間を刻む ～ナッツコラム～

俺は、今回ブラジルに派遣された夏目裕介（ナッツ）の左腕に巻かれている白い腕時計だ。俺をブラジル派遣に連れて来てくれてうれしく思う。ブラジルと日本の時差は12時間、俺を見れば12時間先の日本の時刻もわかるってもんさ。がんばって派遣中の大事な時間を刻みたいと思う。と同時に、俺の目から見たナッツの様子や気持ちを「ナッツコラム」として記していくぞ。

出発直前、ナッツは夜遅くまで荷物の準備をしたり、第一滞在地のクリチバでの予定がまだ知らされていなかったりという状況でかなり焦っていた。そして、35時間かけて、クリチバの街についたときはへとへとだった。気を取り直して、日伯友好のためにがんばってもらいたい。

